そけいヘルニア手術（成人）を受けられる方へ

日付		/	/		/	/	/
経過		入院日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目	術後3日
治療	測定	体温、脈拍、血圧を測定します。			体温、脈拍、血圧を測定します。		
	安静度	安静の制限はありません。		手術後医師の許可があれば、ベッド上で座ることができます。初めて起き上がるときは看護師とともに行います。	トイレまで歩行できます。	安静の制限はありません。	
	検査		必要に応じて採血、レントゲン検査があります。		必要に応じて採血、レントゲン検査があります。		
	内服	いつも飲んでいる薬の確認をします。 寝る前に下剤を飲みます。					
	注射点滴			点滴をします			
処置		手術する部位にマジックで印を付けます。	洗面・歯磨き、髭剃りは普段通りに行ってください。 お化粧・マニキュアはせず、外せるものはすべて外してください。 手術に出る30分前にトイレをすませ、着替えてベッドで休んで下さい。		尿を出す管が入っている時は管を抜きます。		
		清潔のため必要に応じて手術する部位の除毛をします。	血栓予防のため弾性ストッキングをはきます。	血栓予防のための下肢にフットポンプ（間欠的空気圧迫）を装着します。	歩行ができれば弾性ストッキングを脱ぎます。		
食事	朝	食事の制限はありません。	食事、水分は取らないでください。		医師の許可があれば、食事をとっていただきます。		
	昼						
	夕	（　　）時からは何も食べないでください。 （　　）時からは何も飲まないでください。	医師の許可があれば水分は飲めます。 状況により食事を開始します。				
清潔		清潔のため、シャワーをします。 シャワーができない方は全身を拭き、洗髪をします。				シャワーができます。	
説明		入院セット（CSセット）の加入をお勧めします。 眠れない場合は看護師にご相談下さい。	荷物は整理し、貴重品はご家族に預けてください。		≪退院後の注意点≫ 1か月程度は、強い腹圧をかけないように気を付けましょう。長時間の歩行、重い荷物を持つ、自転車など。 便秘予防は大切です。 創部の出血・発赤がある場合は平日の日中は消化器外科外来、夜間・休日は救急部に受診してください。 創部のフィルムは自然にはがれるのを待ってください。 入浴は退院後からすぐ可能です。		

※治療内容、入院期間については状態に応じて予定が変更される場合があります。

福井大学医学部附属病院　A棟南4階　2020年2月　作成